

大地震が発生したらまず自分の身を守る
揺れが収まったら真っ先に火の始末で火災防止

2019年8月21日発行
柳谷戸支隊 情報・広報班



7月7日の防災訓練は残念ながら雨で中止となりました。
今後の予定は総合防災訓練の10月20日です。
この訓練は小川小学校での避難施設開設訓練を中心に実施します。
詳細は改めてご連絡します。

9月1日は防災の日！(防災週間8/30～9/5)

非常用持ち出し袋や備蓄ユニットの点検をしましょう！

災害に備えて家庭で取り組む主な対策について項目別に集約してあります。
あなたが主役です。これは必要だと気が付いたことがあったら実行してください。
天災から保護されるレベルが向上します。

※1. 家具の置き方、工夫していますか？ 家具は壁に固定しましょう。

※2. 食料・飲料などの備蓄、充分ですか？ 人数×7日分。

飲料水(1人3リットル/日)、非常食<飯(アルファ米など)・常温で食べられるもの>、
紙ナプキンの類<トイレットペーパー・ティッシュペーパー>、熱源<カセットコンロ・ボンベ>。

※3. 非常用持ち出し袋の準備、できていますか？ 日本気象協会は備蓄の心得として
避難所へ移動する際に必要な資材を紹介しています[参照1]。内容は飲食料品<飲料水・給水
受け用ポリタンク・レトルト食品・アルファ米・缶詰>、生活用品<歯ブラシ・除菌ウェットティッシュ・懐中電灯・毛布>、
情報確認手段<携帯電話充電器・手回し充電式ラジオ>、女性向け<生理用品>、乳幼児
向け<スティックタイプ粉ミルク・哺乳瓶・紙おむつ>、高齢者向け<粥など・処方薬・お薬手帳>。

家を離れる際は忘れずに(電気ブレーカーを落す、ガス元栓を閉める、ドアに施錠)。[参照2]

※4. ご家族同士の安否確認方法、決まっていますか？

日頃から安否確認の方法や集合場所などを家族で話し合っておきましょう。

連絡方法<災害用伝言ダイヤル171・携帯電話で家族友人間のLINE>。

※5. 避難場所や避難経路、確認していますか？

豪雨、津波、火山噴火、など、災害の種類によって安全な避難場所が異なります。
柳谷戸地区ではこの3種類ではなくて、地震災害を相手にしなければなりません。
勤務先の被災履歴はどうですか。旅行先についても常に事前調査しておきましょう。

東京防災の040～041「避難の流れ」を開いて、左端の人の行動を黒い矢印でたどってください。
震度5強以上の地震が発生した場合の「避難指示」を思い出してください。我等
の支隊の一時集合場所は柳谷戸公園で、避難所は小川小学校です。

[参照1] 避難所に持って行く物は？：朝日新聞デジタル www.asahi.com/articles/ASL8Z5CT7L8ZUEHF00L.html

[参照2] 東京防災 P040-041 避難の流れ、P046-047 避難するときの注意点

以上